

我孫子市消費者の会

お知らせ

2012年5月16日 第38期 No. 2-431号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

つくば市などの竜巻は大変でした。被災地の方々にお知り合いはないでしょうか。お見舞い申し上げます。その後も天候が不安定です。活断層が富士山でも見つかった等、何かと不安な話題が多いですね。

総会が終了しました

5月7日(月)我孫子北近隣センターにおいて38期の総会を開きました。公開勉強会の「我孫子で受けられる医療と介護～知っておくと良いこと～」を栗原洋子さんに話してもらいました。一般参加者42名と会員29名が熱心に聞いてくださいました。

栗原さんの話した部分の資料は、欠席された会員の皆様に配布します。こういう資料が欲しかったとおっしゃる方が多くいらっしゃいました。これを参考にして、ご家族との話題にしてください。

総会は議案通り可決されました。会費未納の方は5月中にお願いします。

新会員の紹介

会員数を前月110名と報告しましたが、事情があってその後止められた方が2名いました。総会勉強会でお誘いした中から2名が加わってくださいましたので、今期も110名で活動します。どうぞよろしく。

寿地区

綾部満里さん 寿

郵送会員

鹿久保(かくぼ) さちよさん 高野山



モズクの共同購入

石垣島のモズクが今年は来ることになりました。1kg 1,000円。5月25日までに和田へお申し込みください。到着次第配布します。

塩抜きはお好みで時間を調節してください。塩抜き後はレモン汁だけでも美味しく食べられます。配達を手伝ってくださる方もいますので、遠慮なくお申し込みください。

北茨城への支援を続けましょう

3月のお知らせに北茨城市商工会を通じて、復興支援をお願いしました。栗原さんが早速、中古衣料等を送ったところ、下記のような御礼のことばが寄せられたそうです。

「栗原さま

日頃より千葉の皆様方のあたたかいお心遣いに心より感謝申し上げます。

支援の物資はどんな品物でもありがたく頂戴し、北茨城市と福島県いわき市の仮設住宅を中心に配りしています。

本当の目的は、それを配ることを理由に閉じこもりがちな被災者とのコミュニケーションをとったり安否確認をすることにあります。しかしながら、先週も2名の市内の方が自ら命を絶つなど、市内の方々の心(特に中小事業者)は非常に不安定です。

栗原さまのような方々のご支援は、実のところ私たちサポート側の支えとなっているところが非常に大きいと思っています。

今年度より、私の方で風評被害払拭のための市内食品の物販キャラバンもしていくため、千葉でなにかお祭りなどがあつた際には市内の水産加工品などをPR販売もできたらと考えております。ネット通信販売もしていく予定でおり

ますので、引き続きましてご支援をいただきたく、よろしく願い申し上げます。

319-1542 北茨城市磯原本町 1-3-9

北茨城市商工会 中小企業診断士 藤島匠」

5月の定例会でこのことを話し合いました。あの大地震と原発事故はまだまだ現地の方々を苦しめているのだと認識を深めました。

引き続き支援品を送ることもお願いします。

実はバス見学会で、我孫子の不燃ごみの最終処分場を見学し、地元の産物を買ってくるという支援の方法を考えました。残念ながら市のバスは片道250km以内と規定されていて、この計画は実現できないことになりました。

バス見学会は第1候補7月26日で、改めて行き先を考えます。次回のお知らせで。

庭先セールへのご協力を

レッツGO、みんなニコニコ庭先ガレージ
セール 5月25日(金) 11時~14時
つくし野1号公園の坂の上
会員の海津さんにご近所の方で開きます。
どうぞご協力を。

千葉県消費者団体連絡協議会が表彰

消費者庁が「消費者支援功労者表彰」を行っていますが、平成24年度のベスト消費者サポーター章を消連協が受けることになりました。消費者庁のホームページにその理由が書いてありました。

- ・設立以来38年間、消費者教育や環境・高齢者の問題などに意欲的に取り組む。
- ・毎年消費者大会を開催し、一般消費者に向け情報を発信している。
- ・食品添加物の全面表示や原産国・地表示の義務付け、石けん利用の促進、分別の重要性を行政に働きかけている

この中で3番目のものは我孫子市消費者の会のものですが、まあ、消連協の仲間と素直に喜ぼうと思っています。

消費者フォーラムの挨拶文

5月24日、千葉県の消費者フォーラムが開かれ、我孫子からは17名が参加します。そのプログラムの挨拶文を、和田が書きました。

消費者には知る権利と選ぶ権利があり、その実現のために消費者団体は活動してきました。

そのことを改めて皆さんも確認して頂きたく、拙文ですが転載します。

ご挨拶

昨年3月11日の大震災・原発事故に伴って、日本社会は大きな衝撃を受けました。1年経った今も、各方面の懸命な努力にもかかわらず、復興の目途ははるか遠く、世界で初めての規模となった放射線の影響も、真実が見極められない状況で消費者の不安は解消されていません。千葉県内でも、福島から200キロ以上離れた東葛飾地方では、ホットスポットと呼ばれる放射線量を検出し、未だに少なくなっていない。

2004年にできた消費者基本法の中に、消費者には8つの権利があると規定されました。その中に、「情報を与えられる権利」「選択をする権利」があります。しかし放射能問題に関して言えば、この1年、私たちはこの権利が充分満たされていないと感じることが多々あったように思います。消費者は本当のことを知りたい、その上で何を選択し、どう生きるかは消費者一人一人が決めることだと思います。

この消費者フォーラムは、参加団体のアンケートで一番多かった「放射能問題をきっちり勉強したい」という意見で企画を進めて来ました。私たちが今生きていることは、将来の子孫のいのちにつながっているという認識が必要な時代になりました。

上昌広先生には、先生がご活動なさっている中から、大事なことは何かをお話いただきます。そして、消費者の安全を願って日々ご努力頂いている食品の提供者側からのご意見を事例としてお二方にお話いただきます。

今日のフォーラムが皆様のお考えの整理の一つでも役立てば幸いです。「暮らしやすさ一番の千葉へ」ご一緒に協力してまいりましょう。

「消費者フォーラム in 千葉」実行委員長

和田三千代

緑のカーテンを作しましょう

手賀沼流域フォーラムの一環として、講習会を開きました。手賀沼トラストの方が作ってくださったゴーヤとヘチマの苗が配られ、育てるポイントが説明されました。ゴーヤは特に肥料と水を沢山必要とする等、上原さん、中村さんのお話はとても参考になりました。質問にも答えて頂きました。